

平成29年度

# “信州の木” 建築賞

今年は今古民家などのリフォーム・リノベーション！

木造建築物の魅力を発信するとともに技術者の  
スキルアップを図るため信州の優れた木造建築を表彰します。



## 平成29年度“信州の木”建築賞審査委員会 審査講評

“信州の木”建築賞は、単なる木造建築のカタログ集にとどまらず、木造化、木質化のお手本となるような建築物を選定するというもので、昨年度から創設した。

昨年度は新築の中大規模の木造建築物を表彰対象とした。今年度は、古民家に代表される信州に根つき、生活の場として利用されていた木造建築物、あるいは地域の目印になるような木造建築物を、リフォームやリノベーションによって現代的な生活空間にしつらえる、あるいは、地域に愛される憩いの場として更なる活用を見出した作品などを対象とした。今回は比較的年代が古いものとして、築後70年以上と限定した。

選定の視点は「遺産的な木造建築物の有効活用の手法」、「木造建築物の保存や発展への寄与」、「構造性能、防耐火性能向上等に創意工夫」、「デザイン・まちなみや周辺の景観との調和」、「環境負荷の低減・省エネルギー化への取組」、「模範的なリフォーム・リノベーション」の6点であり、これらを評価対象とした。なお、これらの評価項目すべてについて、確実な配慮がされていることが応募の条件ではなく、改修を実施した築後70年以上の木造建築として、幅広く作品を募集した。その結果、応募総数は17件であった。

第1次審査は、まず、応募資料をもとに1作品ずつ審査委員が講評し、意見交換した。その際、審査委員と関係のある作品があることが判明したため、当該作品については審査に加わらない、コメントも発言を求められたときのみ、として公正に審査を実施した。また、審査委員は意匠、構造、材料など様々な職種、専門分野から構成されている。そこで、それぞれの専門分野の視点から作品を評価し、その情報を審査委員全員で共有した。これらの意見交換の後に、投票を実施した。投票では6作品以上の選定を目指したが、点数差もあり、結局のところ上位5作品となった。

第二次審査は、現地で建物の確認と設計者等による説明ののちに、第一次審査と同様に審査委員で意見を交換し、投票により最優秀作品を1点、優秀作品を2点それぞれ決定した。

最優秀作品は、伝統的建造物群保存地区内において古民家を宿泊施設として活用したもので、いくつかの棟を有機的につなぎ、全ての棟において、全ての評価項目への配慮、更には、中間の棟の活用による延焼防止、避難路の確保などの配慮もされていた。いずれに審査項目についても高評価を得ており、最優秀作品として選定した。

優秀作品の2点は、現在、店舗として有効活用されているものである。

1点目は、観光地の中心地にあり、建物の単体のデザイン優秀さはもとより、良好な景観づくりの方針のもと、整備が進められている街並みの一部を構成している店舗である。全ての評価項目にわたって網羅的な計画、配慮がなされ、リフォーム、リノベーション例としてバランスの取れた提案であった。

もう1点は、伝統ある酒蔵の顔として活躍するもので、懐かしくもあり、新しい雰囲気を出せる建物、という評価がまさにあてはまる店舗の提案である。店舗部分の改修は、住宅では難しかった空間を実現し、さらに和室の再利用では、デザインばかりではなく、更に構造や断熱などへの配慮もなされていた。

前述のとおり当建築賞は、「お手本」となる建築物を選ぶことであるが、改修予算に差はあるものの、応募作品のすべてが地域の資産である歴史的木造建築物を活用し、後世に繋ぐ取組をされているものであった。改修時の予算によって、更に改修後の用途によって、出来上がる建物の印象が左右される。更に予算によっては、評価項目すべてに対しては対応できず、限定的なものにならざるを得ない。評価項目のうちひとつでも優秀なものがあればそれを評価したい、構造や断熱もネガティブチェックが主であり、それだけでは優劣とはしたくないなどと、私見を述べさせていただいた。とはいえ、今回は総合的に評価の高いものが各視点においても高得点を有しており、総合的にまとまりの良いものが優秀な作品として選ばれる結果となった。対象の中には改修費用を抑えつつも活用がされているものもあり、今後、古民家等を継承するにあたりこのような作品が評価されるような取り組みや展開に期待したい。

日常業務でお忙しい中、応募いただいた各社に感謝の意を表したい。

平成29年11月17日

審査委員長 京都大学生存圏研究所 教授 五十田 博

## 今年度の“信州の木”建築賞の概要

【対象】概ね築後70年以上が経過した『木造建築物』で  
リフォーム・リノベーション工事を実施したもの

【構造】木造建築物(当初建築物の主要構造部である柱、梁及び  
桁等に木材を使用したもの)

【規模】床面積、階数等は問いません

【用途】学校、店舗、事務所、蔵及び民家等を活用し、広く  
県民の方々が利用する施設

【建築時期】概ね昭和20年(1945年)以前に建築された建築物で、  
平成元年から29年5月31日までにリフォーム・  
リノベーション工事が完了したもの

### 【審査】

- 地域のシンボルでもある遺産的な木造建築物が有効に活用されているもの。
- 地域の事業者や技能者が主体となり、木造建築物の保存や発展に寄与しているもの。
- リフォーム・リノベーション時に木造建築物の構造性能、防耐火性能向上等に創意工夫を凝らしたもの。
- デザインに優れ、地域の文化や風土、まちなみや周辺の景観と調和がとれているもの。
- 環境負荷の低減に配慮・省エネルギー化への取組や提案がなされているもの。
- その他、長野県におけるリフォーム・リノベーション木造建築物として模範となるようなもの。
- 《上記の項目などを評価対象とし、総合的に審査を実施》

## 応募作品リスト

作品番号 (受付順)	作品の概要					
	建物名称	所在市町村	用途(現在)	階数	延べ床面積	応募者
No.01	かんてんばばショップ 小布施店	上高井郡 小布施町	店舗・ギャラリー	2	260.59㎡	(株)宮本忠長 建築設計事務所
No.02	東司・東町屋台蔵	長野市	屋台蔵,公衆トイレ, 集会場	2	225.6㎡	(株)宮本忠長 建築設計事務所
No.03	中山道 肥田邸	木曾郡 木曾町	食事処	2	303.37㎡	(株)中村建設
No.04	宮ノ越宿 田中邸	木曾郡 木曾町	コミュニティ施設	2	195.18㎡	(株)中村建設
No.05	八ヶ岳の茶室	南佐久郡 南牧村	茶室(社交の場)	2	230㎡	吉野弘建築設計 事務所
No.06	城向山瑠璃院 照光寺別館 三宝閣	岡谷市	寺院施設 (交流施設)	2	179.6㎡	(株)サイト
No.07	移住定住促進施設 「たまる家」	南佐久郡 南相木村	住宅 (体験居住施設)	2	275.55㎡	横山建築研究室
No.08	ウエルネスタウン 丘の上・蔵	飯田市	飲食・テナント	2	438.01㎡	(株)アーキティアック
No.09	海野宿滞在型 交流施設 うんのわ	東御市	飲食・宿泊	2	496.27㎡	(株)アーキティアック
No.10	松本市中町蔵シック館	松本市	多目的施設	2	445.64㎡	(株)降幡建築 設計事務所
No.11	kura <sup>3</sup> 夢倉座	木曾郡 木曾町	田舎暮らし 体験住宅	2	47.45㎡	甘利享一
No.12	泰阜村観光交流センター 「左京の宿」	下伊那郡 泰阜村	体験宿泊施設	2	363.51㎡	(有)みすゞ設計
No.13	大雪渓酒造 花紋大雪渓	北安曇郡 池田町	事務所・物販店舗	2	399.16㎡	(有)かわかみ 建築設計室
No.14	旧マルト醤油店	南佐久郡 佐久穂町	多目的スペース	2	512.48㎡	井出 正臣
No.15	奥村土牛記念美術館	南佐久郡 佐久穂町	美術館	2	791.43㎡	佐久穂町長
No.16	福源酒造 御囲蔵の再生	北安曇郡 池田町	事務所	2	425.13㎡	小林建築設計 事務所
No.17	木祖村宮古民家住宅	木曾郡 木祖村	(移住者向) 村宮住宅	1	178.61㎡	木祖村長

※  着色の作品は二次審査対象作品

# 最優秀賞

海野宿滞在型 交流施設 うんのわ

東御市

飲食・宿泊施設

2階

496.27 m<sup>2</sup>



中庭



南側外観

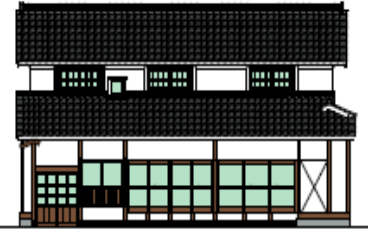


北側外観

応募者：株式会社アーキディアック



壹石楼・南側立面图



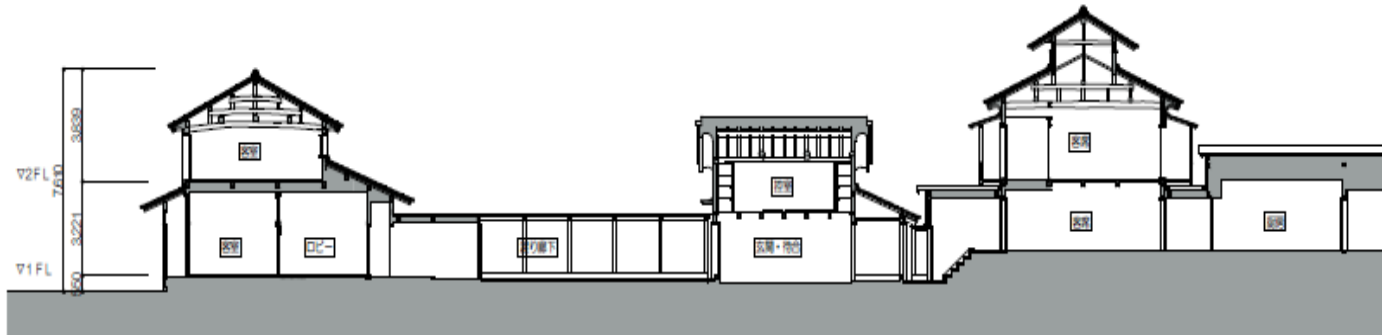
壹石楼・北侧立面图



壹石楼・东侧立面图

五福楼・东侧立面图

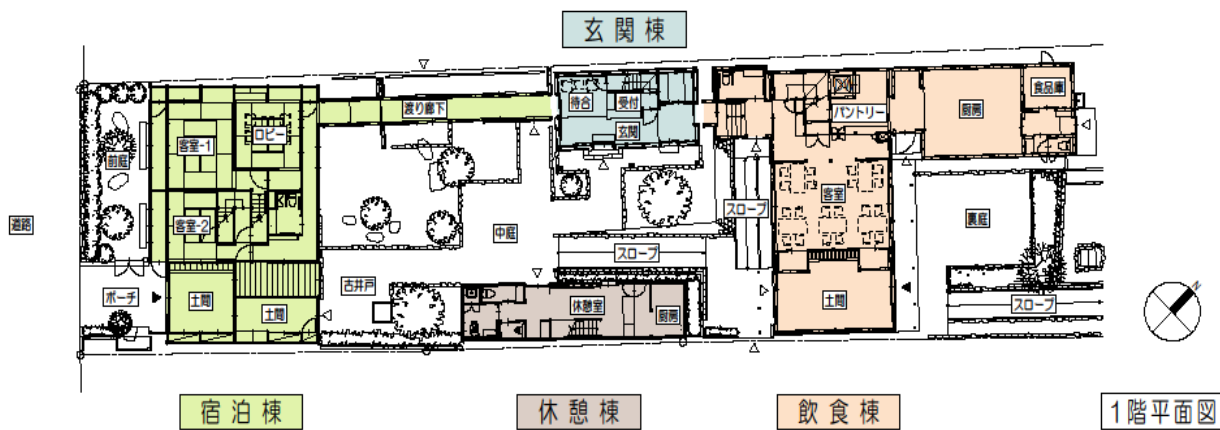
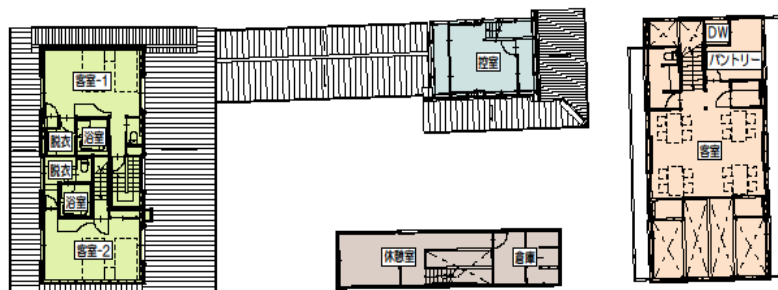
敦庆楼・东侧立面图



壹石楼梁架力剖透视图

五福楼桁架剖透视图

敦庆楼梁架力剖透视图



# 優秀賞

## かんてんぱぱショップ 小布施店

上高井郡 小布施町

店舗・ギャラリー

2階

260.59 m<sup>2</sup>



南側全景



東側全景



南西オープンテラス



東側夜景

応募者：株式会社宮本忠長建築設計事務所

## <計画の背景>

### 一池田家の人々・町民の思い

…「池田邸」を活かす方法の模索

1999年 第8回小布施町景観賞受賞

●南側屋敷堀を取り御払い小布施町の景観形成に寄与

2005年 町民から愛されてきた「池田邸」を活かす方法の模索。

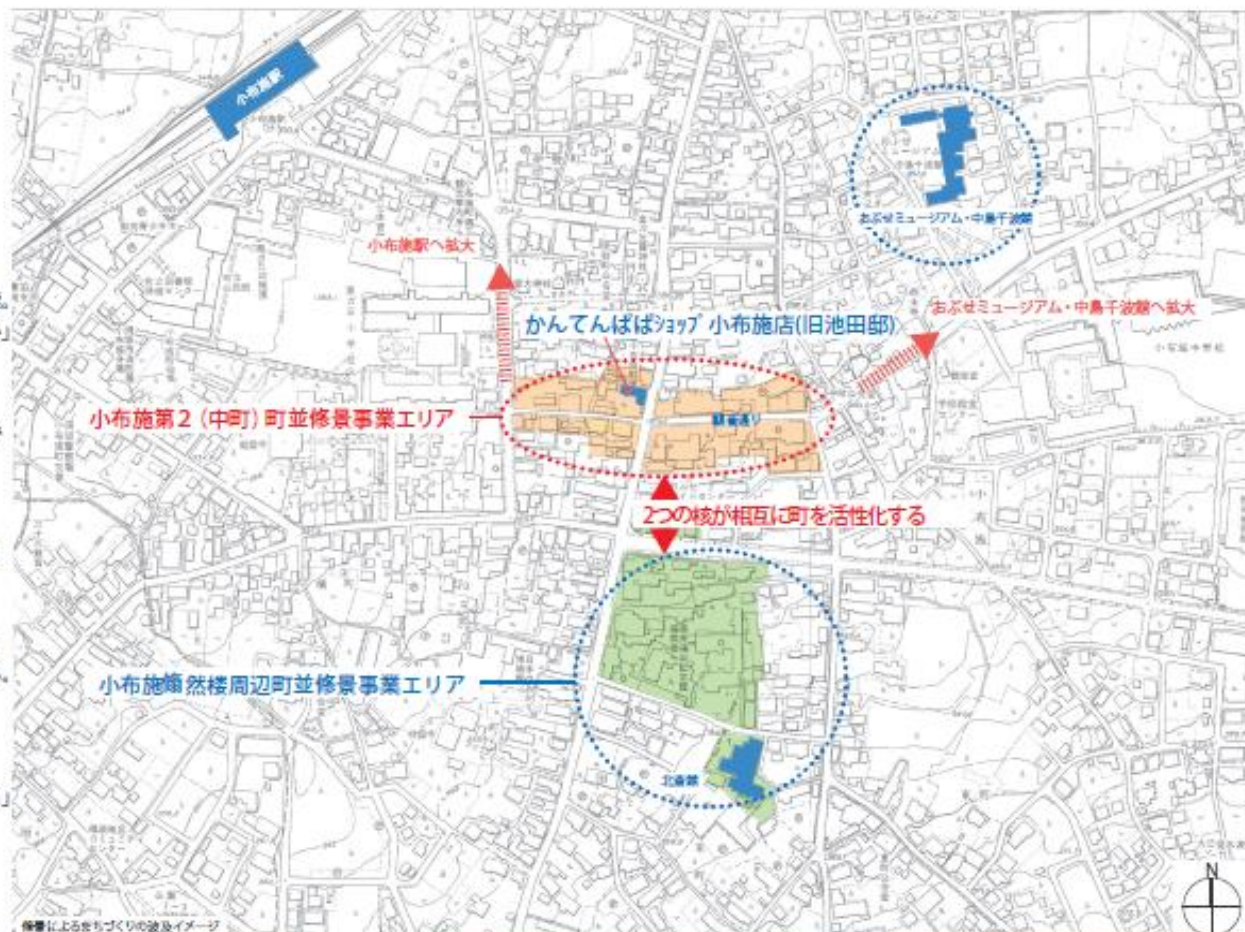
- 池田家の人々の「町の為に建物を活かしてもらいたい」という思い。
- 由緒ある池田邸を残したいという町民の思い。
- 民間の力で施設の永続的な維持ができる経済的しくみを考える。

→池田家と宮本事務所で全体基本構想を作成。小布施町・地元企業が計画理念を理解して事業参加してくれる企業をあたる。

→「北斎館周辺町並み修景計画」エリアと、池田邸周辺を核とする「第2町並み修景計画」エリアを連携・回遊性を持たせることを考え、町全体の魅力を高め活性化を図る。

2009年 「中心市街地再生支援事業」の助成

2010年 「小布施町の環境整備・まちづくりに協力できるなら」との思いで、伊那食品が売店を出店。



① 旧池田邸 南東外観(改修前)

② 旧池田邸 南外観(改修前)

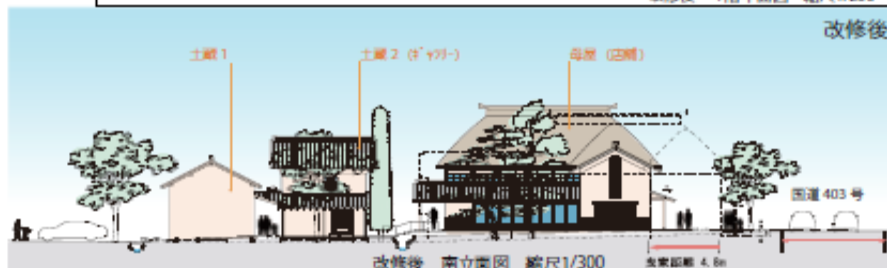
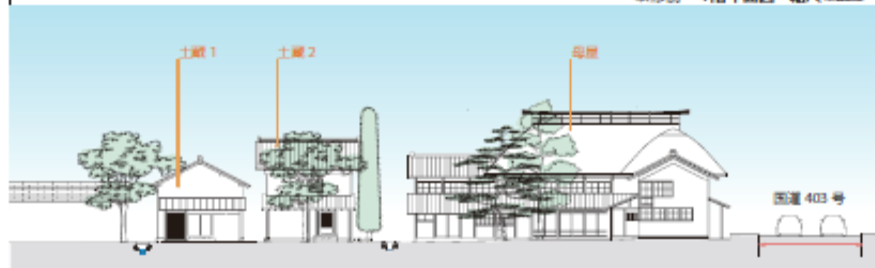
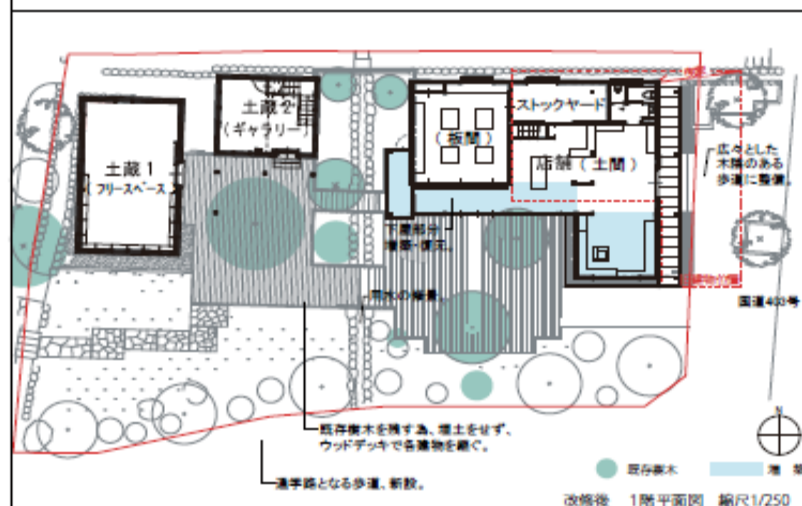
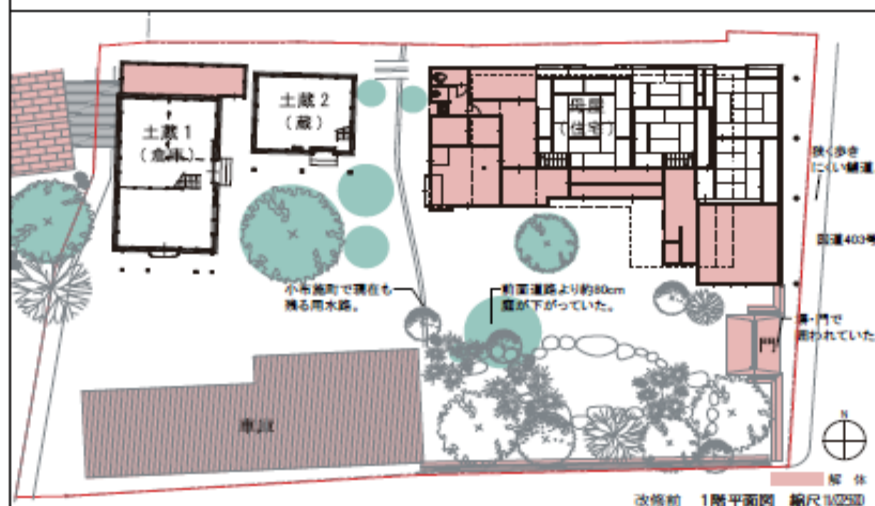
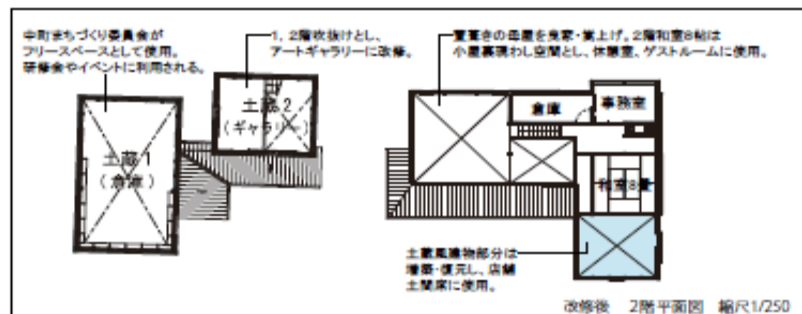
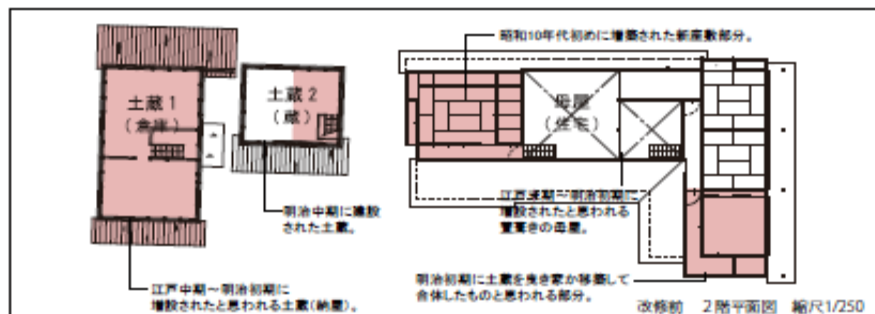
③ 旧池田邸南側道路から西をみる(改修前)

④ 桜井日精堂前から西をみる(2008年)

⑤ 中町交差点から東をみる(2008年)



## <建築部の再構築>一解体・曳家・復元増築



# 優秀賞

大雪溪酒造 花紋大雪溪

北安曇郡 池田町  
事務所・物販店舗

2階

399.16 m<sup>2</sup>



西側外観



主庭に面する土縁



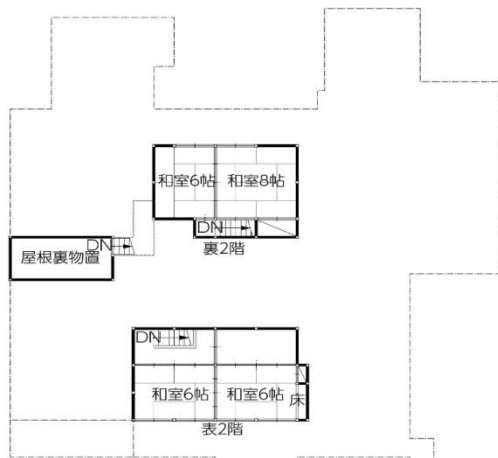
主庭と和室

応募者：有限会社かわかみ建築設計室

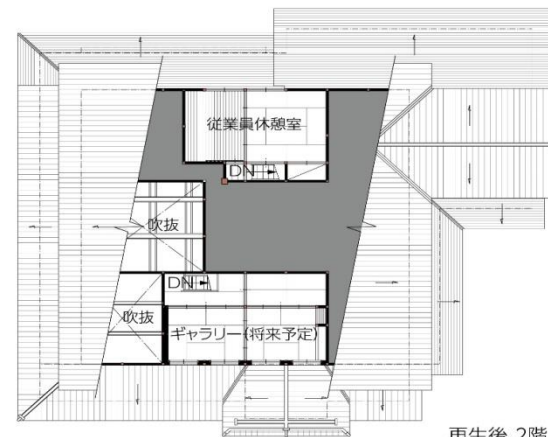




明治末期(約105年前)別の場所から  
当地へ移築した際の上棟式(東面)



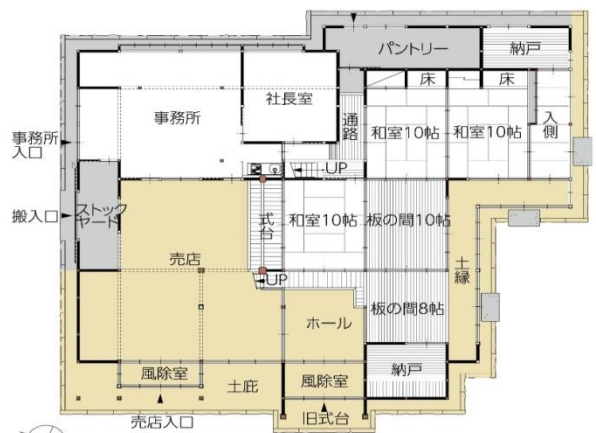
再生前 2階



再生後 2階



再生前 1階



再生後 1階

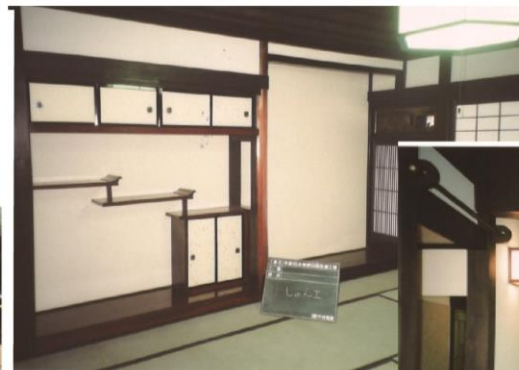
# 東司・東町屋台蔵

長野市



# 中山道 肥田邸

木曾郡木曾町



# 宮ノ越宿 田中邸

木曾郡木曾町



# 城向山瑠璃院 照光寺別館 三宝閣

岡谷市



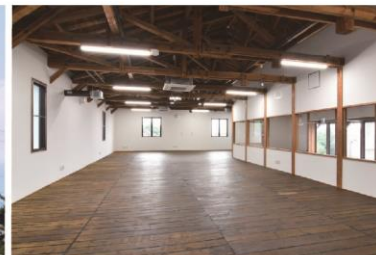
# 移住定住促進施設「たまる家」

南佐久郡南相木村



# ウェルネスタウン丘の上・蔵

飯田市



# 松本市 中町 蔵シック館

松本市



# kura<sup>3</sup> 夢倉座

木曽郡木曽町





# 泰阜村観光交流センター「左京の宿」 下伊那郡泰阜村



# 旧マルト醤油店

南佐久郡佐久穂町



# 奥村土牛記念美術館



南佐久郡佐久穂町



# 福源酒造 御囲蔵の再生



北安曇郡池田町



**木祖村宮古民家住宅**



木曾郡木祖村

